**北大生協2021年度第10回定例理事会　発言録**

1　日時　2021年３月31日（水）　18:16～20:40

2　場所　北大生協会館店3階・会議室　（札幌市北区北8条西7丁目）

以下の理事・監事は、webテレビ会議システムにより出席した。

金川眞行理事（北海道大学内事務所）

小篠隆生理事（北海道大学内研究室）

中山拓登理事（自宅　東京都杉並区）

安藤亮博理事（実家　千葉県我孫子市）

奥山莉子理事（実家　埼玉県川口市）

髙木暉馬理事（自宅　北海道札幌市北区）

三澤建成理事（自宅　北海道札幌市北区）

今井佑香監事（実家　愛知県みよし市）

3　出席役員

理事総数　　18名中　13名出席

（出席理事）柿澤宏昭理事長、小助川誠理事、鏡秀隆理事、金川眞行理事、小篠隆生理事（20:27退席）、中山拓登理事、安藤亮博理事、髙橋廉理事、井崎貴皓理事、伊藤凌理事、奥山莉子理事、髙木暉馬理事、三澤建成理事

（注：webテレビ会議システムにより出席した方を含みます）

（欠席理事）大道元理事、笠原敏史理事、山崎幹根理事、小林華理事、蛯名美乃里理事

監事総数　　5名中　1名出席

（出席監事）今井佑香監事

（注：webテレビ会議システムにより出席した方を含みます）

（欠席監事）坂爪浩史監事会議長、久保淳司監事、加戸翔大監事、澤田葉月監事

（オブザーバー）嶋崎聡（大学生協事業連合北海道地区管理統括部長）

安井、原田、藤井、釜石（全国大学生協連）

【議決事項１．2020年度2月期営業総括及び決算承認の件】

中山：嶋崎部長から、借入金について説明があったが、事業連合への延納の期間は定めがあるのか？

嶋崎：いつまでという期間はありません。また、利息もありせん。

中山：新入生の生協加入が悩んでいる中で、いかに利用してもらいながら供給を作っていくのかを議論したほうが良いと思います。

金川：エンレイソウレストラン臨時営業の件ですが、「最終週に半額セールを行った」とありますが、隣の建物に勤務しているのに知らかなった。どのようにPRされましたか？理学部2号館における弁当販売についても、場所を提供したのに結局お願いしないと（部局事務部の責任者（兼理事）に対し）販売状況の報告もありませんでした。報告があれば手の打ちようもあったと思われますが。

鏡：HPとポスターを中心に宣伝していました。ホームページのお知らせ欄でメニューの更新をしていて、大学院生委員会のTwitterでの情宣もありました。チラシまではまけず、急遽行ったためその程度になっています。

理学部ロビーでの弁当販売は、用意した数はほぼ完売であったため、良くご利用いただけたと捉えておりますが、金川理事から博物館レストランでの弁当販売開始情報を得た以降は、用意する数を減らしました。

金川：エンレイソウレストランのメニューが単価的に学生に厳しいなら教職員に宣伝するべきだったかなと思いました。各部局の庶務担当にメールでの周知をお願いするなど必要かと思います。

鏡：以前、教職員委員会でも意見が出されていましたが、生協の宣伝をなかなか載せていただけず、厳しい部分もありました。教職員委員会の力を借りながら行っていきたいです。

金川：正面から了解を取ってからではなかなか厳しいかなと思いますが、庶務担当はたくさん外からくるお知らせの1つとしてならできると思うので、そういう方法でアプローチしてもらうといいと思います。

【議決事項２．組織員等任免の件】

中山：理事辞任は理事会への報告だけでよかったはずなので、議決にしないでください。

髙橋：理事辞任は報告にします。

【議決事項３．獣医学部店の無人店舗化と物販販売機の導入の件

小篠：獣医学部店の損益についてですが、これから返還するスペースの使用料金と相殺になるのか？

小助川：施設の使用料は無料です。人件費やレジや業務システムなどの固定費（22年度から）は削減されることになります。

小篠：一般の自販機と違うと思いますが、ここでの利潤と生協の関係は？

小助川：生協の店舗として扱うため。生協の利益になります。

小篠：生協の商品をそのまま使えるということですか？

小助川：はい。店舗と同じ価格で商品を販売することが可能です。

小篠：人件費の削減も含めて未来志向で考えてもいいのかなと思います。

小助川：これができればパートさんの人数を減らしたオペレーションもできると思います。

小篠：その辺のモニタリングもしましょう。

鏡：複数台の導入の際には入札になる可能性もあると、事務局から言われています。

小篠：生協らしさ、組合員のニーズに合致したものが出せれば実績を積んで、入札でも勝てると思うので、それを踏まえて取り組むべきではないでしょうか。

小篠：現金以外に決済方法はどうなるのか。

小助川：電子マネーも使えるようにする予定です。

金川：自販機にすると牛乳とかは置けるのですか？

小助川：今、保健所に申請すると食品販売関連法令によって、牛乳は免許を取得する必要があります。6月以降に申請方法が変わるので、変更内容によっては入れられるかもしれないです。ただし、事務局からは飲料は入れないようにと言われています。

小篠：獣医学部店を設置したときは、設備の用意は大学がやってくれたのですか？

小助川：備品は生協の方が用意しています。

小篠：獣医学部が、自分たちの利便性が上がると考えられるのであれば、生協が全て負担するというのはおかしい。

使えるものは使うという意味での議論をした方がいいのではないか。大学は学生支援などをドライにやる印象があるので、その辺も含めて検討してください。

金川：獣医学部店の店舗としての復活の想定はしていますか？またコロナ禍終息後、獣医学部としては店舗の維持を考えているのか。設備等処分の関係で伺いたい。

小助川：獣医学部では、店舗跡地は、店舗ではなく、非常勤講師の控室などに利用するなどの案があるようです。

中山：一店舗に関してはそこで黒字化していくという話ですが、客単価、利用人数、回収する見立てについて聞きたい

小助川：今回はシミュレーションを出してないですが、300円前後の単価で1日の利用者数約100人、5年程度の償却を考えています。

中山：人がいようがいまいが黒字化しないと置けないのは伝えるべき。これで赤字が続くならどうするかは、獣医学部自身の問題として相談すべきだと思います。

小助川：以前は、事務方にも利用促進で協力していただいていました。引き続き協力をお願いしていきます。

柿澤：きちんとモニタリングの努力や販売促進の工夫をお願いしたい。

鏡：販売情報のモニタリングは重要だと思っています。設置については、永遠に許可するかはわからないと財務部からは言われています。実際に売り上げは厳しい見通しですが、半年くらいが正念場だと思っています。生協としての事業の在り方についても、今後の常務会や理事会等で議論すべきかと思います。

金川：そういう意味では、（大学へのお願いが）ベンダーマシンという位置づけではダメなのですよね。（自販機を置くのでスペースを借用したいという考えではなく）店舗の形が変わる、新しい事業スタイルだというくらいの勢いで申請するべきかと思います。獣医学部は、生協が店舗ではなく自販機という形で営業していくつもりなのだと判断しているので厳しい対応になっていくと思います。

【議決事項４．2021年度通常総代会開催に係る件】

金川：議案書（案）のP28について、2018年4月からの部分は、これで正しいのですか？

小助川：差し替えを忘れていました。申し訳ありません。修正します。

鏡：ご意見があれば、幹事会があるので５日まで受け付けます。

金川：一般的でない表現もある気がするので、ざっと点検してみます。

嶋崎：印刷はいつですか？次回の理事会で良いなら、それまで意見を求めてもいいのでは？

鏡：次回の幹事会とさせてください。

嶋崎：監事会では、決算を中心に点検するので、そこは早めに修正してください。

小篠：コロナとは関係なしに経営的には赤字が続いていたと思うのですが、赤字に対しての評価、対策が書かれていないように見えます。

小助川：事業環境を考えると、積極的な事業予算組みは難しいので悪化させないことを進めていきたい。

小篠：もうちょっと中期的には、2019年の事業規模に戻ることはないと思った方がいい。教室に行きたくない学生もいるでしょうし。新しいこれからをどう作るか、どうサービスするは考えて行った方がいい。無人化もありえますし、収益軸を違う方向で考えるのも大事だと思います。総代はあまり言わないかもしれませんが、その辺りを考えた方が健全だと思います。

鏡：2019年度から考えると、人員の削減など動かせなかった部分が動いた。更に、削減しないといけない部分はあると思うのでご指摘を受け止めさせていただきます。

小篠：限界も来ていると思うので、これ以上やれとは言いませんが、どういうサービスが適しているのかを考えた方がいいかなと思います。方針として書かないと右往左往して終わってしまう。

小助川：継続させられる部分は継続していきたい。

小篠：19年度はマンネリ化していたと思う。今は大きく変わっているので、店舗としてはこうあるべきというのも変わるので今なら言う人はいると思う。

金川：我々（事務部）も在宅で業務を行っていて、通常通りできるかというとできていない業務もある。一定数の出勤者はいるが元に戻ることはないと思うので、大学に来ない人（組合員）向けのサービスやバーチャル店舗を作ってみるとか、販売に対する考えを切り替えるということも必要ではないか。セコマがある、近くにファミマもあるので実店舗の内容では負けてしまうので、組合員のニーズを意識したサービスを目指す必要があるかと思います。

伊藤：自分はリモートだったのですが、正直生協に関わることがない。近くのコープさっぽろでご飯が食べられるし、生協でなければというのはほぼない。だからこそ何か言えるかというとそうでもない。学生委員といった思いで使うことはあるけど厳しい。オンラインでサービスされても使うかわからない。

小助川：今のままではダメだなということで、理事会でもそういった内容を考えて行くということを提起していきます。

【議決事項５．内部統制の整備と執行状況について】

特段の意見無し。

【報告事項１．組織委員会報告】

井崎：一番は営業時間についての意見が多い。何で営業時間を短縮しているのか周知すべき。やっぱり夕方営業はきついですか？

小助川：4月はオンライン授業中心なので、全ての食堂で夕方営業はできません。ただし中央食堂は18時半まで営業しています。

井崎：10日、11日に2600人くらい来ると思うのですが開けられませんか？

鏡：土曜日は開けますが、現状を分析すると1700人行くかどうか微妙だと考えています。来ない層もいることを考えると2600人を想定として営業することは考えていません。土日はずっと営業していないので、日曜日に働いてくれるパート職員を確保するのも難しい状況です。

井崎：また、意見として、価格を安くして、味の割に…とありました。割引ってできそうですか？

小助川：どこかから援助があるならその分割引もできると思いますが、赤字の中で許されるかどうか検討が必要です。

井崎：味と品ぞろえに関して、量が少ない、同じ味という意見があります。獣医学部以外でも食品系の自販機が欲しい、無料の水を出してくれとの意見もあります。

鏡：給水機は、年明けから各食堂で使えるようになっています。

井崎：生協電子マネーの外部利用や宅配サービスが欲しいみたいです。経営状況は半分くらいが知らなかったらしいですが、身内が多いのを考えるともっといると思います。

伊藤：修士２年の学生で委員会をやっています。オンライン交流会を博士課程、就職した人に来ていただいてトークテーマを決めずにやろうと考えています。参加状況が身内を除くと9人ほどになりそうです。

林：きぼうの虹を明日発行します。北大出版会の方で編纂していた書籍が教職員委員会に進呈されました。

生協の動きが見えない。ずっと広報という話をしていたはずですが、教職員委員スタッフで広報できるのではないかと思うのですが、生協から情報がないと何もできない。

鏡：今後、情報提供を強めていきます。

【報告事項２．出資金動態】

特段の意見無し。

【報告事項３．新学期事業報告】

特段の意見無し。

【報告事項４．理事会室報告】

特段の意見無し。

20:40終了